

## 令和7年度 学校教育自己診断の結果について【報告】

★報告の内容は下の3項目



### ★★★ 分析基準 ★★★

- (1) 提出率
- (2) 集計結果・分析  
(生徒・保護者・教職員)
- (3) 記述回答まとめ

- \* 回答は、「そう思う」「大体そう思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」の5項目で行った。
- \* 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」の回答が あったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」の回答を否定的と捉える。
- \* 達成度を測る基準として「肯定的意見が全体の70%以上」を達成として捉える。また、「否定的意見は全体の30%以上」を課題として捉える。
- \* 「わからない」の回答は集計結果に含めない。

### (1)提出率

	提出数	提出率	昨年度	合計	総合・提出率
保護者	168/422家庭	40%	53%	388/654	59%
教職員	163/171人	95%	98%		
生徒（高等部）	57/61人	93%	92%		

\*昨年度との比較

●保護者の提出率が13%下降した。今年度は紙での配付を行わなかったためと考えられる。今後は、保護者への周知方法などを検討改善し、実施方法についても検討を重ねる。

●教職員の提出率は、3%下降した。引き続き、自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図っていく。

●生徒の提出率は、1%上昇した。今年度も、授業の中で教員と一緒にGoogleフォームを活用し回答する方法で実施した。実習中の生徒については、期間外であるが実習後に教員と一緒に回答した。今後、長欠生徒に対し自宅での回答を実施するなど、どのように対応していくか検討が必要である。

## (2) 集計結果・分析(生徒)

このアンケートは、みなさんが勉強したり、遊んだり学校で楽しくすごせるようにするためのものです。こたえ方は、「はい」「いいえ」「わからない」と書いてあるところを○でかこんでください。

■肯定的意見90%以上 ▲肯定的意見5%以上の上昇  
▽肯定的意見5%以上の下降

	R7肯定	R6肯定	R7否定	R6否定
1 学校へ行くのが楽しいですか。	79	77	7	7
2 授業はわかりやすいですか。	84 ▲	77	4	3
3 学校では社会のルールについて学ぶことができますか。	79 ▲	74	5	5
4 先生はがんばったことをほめてくれますか。	86 ▲	69	2	7
5 こまったときに、相談できる先生はいますか。	75 ▲	70	4	3
6 もし、いじめでこまつたら相談できる先生がいますか。	61 ▽	72	7	2
7 卒業後の進路のことを先生は教えてくれますか。	81 ▲	72	4	3
8 校外学習、宿泊学習、修学旅行、運動会、作品展は楽しいですか。	82	85	5	3
9 給食はおいしいですか。	93 ■	89	2	2
10 学校で iPad (アイパッド) を使うことがありますか。	84	85	11	5

### 【考察】

- 10項目中、達成基準に達したもの（70%以上）は9項目あった。
- 昨年より5%以上数値が上昇した項目は、5項目あった。
- 基準に達しなかったものとしては、1項目あった。6番『もし、いじめでこまつたら相談できる先生はいますか。』は肯定的意見が61%に下降し、否定的意見が7%あった。定期的に行っているいじめアンケートでは、いじめ事案は起きていないため、今後もいじめで困つたら生徒が相談しやすい関係性と環境づくりに努め、いじめの早期発見・早期対策に備えていきたい。
- 4番『先生はがんばったことをほめてくれますか。』は否定的意見が下降し、肯定的意見が大幅に上昇した。今後も日々のやり取りの中で、生徒の変化に気付き頑張ったことを認めていくことで、生徒の自己肯定感を高めていきたい。
- 10番『学校で iPad (アイパッド) を使うことがありますか。』は、否定的意見が11%となっていた。授業では、一人1台タブレットを使用した授業展開以外にも、教職員のICTに関するスキルの向上やICTを活用するための環境整備の促進などにより、幅広い授業展開が進んできたためと考えられる。

(2) 集計結果・分析(保護者)

		R7 肯定 (全)	R6 肯定 (全)	R7肯定		
				小	中	高
1	学校へ行くことを楽しみにしている。	1	83	85	83	87
2	授業を楽しみにしている。	2	82	81	84	78
3	給食を楽しみにしている。	3	86	85	87	88
4	学校行事(運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など)を楽しみにしている。	4	80 ▽	85	76	85
5	『個別の教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	5	98 ■	94	99	95
6	子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	6	94 ■	90	94	95
7	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	7	91 ■	91	94	90
8	『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	8	98 ■	96	96	98
9	避難訓練(地震、火災、不審者、通学バス)や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	9	87 ▽	92	87	87
10	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権を尊重し、個々の実態にもとづいた指導・配慮がなされている。	10	86	85	84	90
11	いじめなどについて子どもが困っていることがあれば真摯に対応してくれると思う。	11	83	85	79	88
12	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育(キャリア教育)を行っている。	12	85	89	83	85
13	近隣の小学校・中学校との交流(居住地校交流含む)、高等学校との交流の機会を設けている。	13	74	75	76	72
14	行事、参観などに参加したことがある。	14	96 ■	100	93	92
15	ホームページやマチコミメールなどを通じて積極的に保護者に情報を発信している。	15	95 ■	95	91	97
16	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に応じている。	16	90 ■	89	90	95
17	学校では、PTA活動が適切に行われている。	17	83	80	83	78
18	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	18	98 ■	97	98	100
19	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	19	93 ■	91	95	95
20	校内でのけがや病気に対する適切な対応ができている。	20	90 ■	90	91	85
21	施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備されている。	21	77 ▲	71	79	78
22	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	22	83	84	82	82
23	企業・福祉サービス事業所の情報を提供している。	23	92 ■	91	92	
24	企業実習・福祉サービス事業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。	24	73 ▽	94	73	

R7 否定 (全)	R6 否定 (全)	R7否定		
		小	中	高
13	11	13	12	15
13	12	12	15	12
9	11	7	8	15
14	9	16	12	15
1	5	1	0	0
4	8	5	2	8
1	6	2	0	0
0	2	0	0	0
3	1	5	2	0
2	5	1	3	0
3	4	2	3	4
6	5	6	5	8
17	13	24	10	12
2	0	3	4	
3	4	6	0	0
5	7	5	2	12
4	11	4	5	0
1	3	1	0	4
1	5	0	0	8
1	4	1	2	0
16	17	15	13	27
4	3	5	5	0
8	6	8		
15	3	15		15

- 今年度24項目のすべての項目が達成基準に達した。(70%以上)
- 4番『学校行事(運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など)を楽しみにしている。』は昨年度より肯定的意見が下降し、否定的意見も上昇した。学校行事の在り方も含めて、検討を重ねていく。
- 5番『「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」にもとづいた指導・支援を行っている。』6番『子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。』は肯定的意見が上昇した。個に応じた支援を行うため、一人ひとりの年間目標の提示や、授業参観でのキャリア教育の観点を導入した指導案作成などに取り組んできたためと考えられる。
- 9番『避難訓練(地震、火災、不審者、通学バス)や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。』が87%と肯定的意見が下降した。今年度より保護者への児童生徒引き継ぎ訓練を実施した。今後は、保護者と連携を図りながら、より実際の災害を想定した訓練にプラスシューアップしていく、防災教育に取り組んでいきたい。
- 21番『施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備・点検されている。』は77%と肯定的意見が上昇したが、否定的意見が16%であり、高等部においては27%と高い数値となっている。今年度老朽化した倉庫の撤去と整地を行った。今後も、段階的に予算等の要望を学校として行い修繕を進めていく。また、月1回の点検等も引き続き行い、危険な箇所等の早期発見や修繕・情報共有等に努めていきたい。
- 24番『企業実習・福祉サービス事業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。』について、高等部の生徒数が少ないので、割合的に大きく数字が下がってしまったと考えられる。引き続き生徒・保護者のニーズを聞き取りながら、日々の教育活動を通して、卒業後の進路選択に向けて有意義な実習を計画していきたい。

## (2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R7 肯定 (全)	R6 肯定 (全)	R7肯定			R7 否定 (全)	R6 否定 (全)	R7否定		
					小	中	高			小	中	高
教育活動	1	『個別の教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	96 ■	97	96	97	95	2	1	1	2	5
	2	児童・生徒の発達段階や課題に応じた授業を行っている。	96 ■	92	97	95	100	3	6	3	3	0
	3	教科学習や生活指導における教材や教具は、視覚的にわかりやすくするなど、工夫・配慮している。	97 ■	97	100	95	100	2	1	0	3	0
	4	『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	94 ■	92	96	95	82	4	6	1	3	18
	5	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	93 ■	94	96	92	95	5	3	3	6	5
	6	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権を尊重し、個々の実態にもとづいた指導・配慮がなされている。	97 ■	95	99	95	100	3	1	1	5	0
	7	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	88	85	81	92	91	5	8	1	8	0
	8	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	90 ■	90	96	85	100	8	6	3	13	0
	9	学校は企業実習・福祉サービス事業所実習の取り組み、支援を適切に行っている。	88	88	96	82	91	4	4	0	6	9
	10	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	88	88	91	84	91	10	10	6	15	5
保護者との連携	11	ホームページやマチコミメールなどを通じて積極的に保護者に情報を発信している。	98 ■	96	100	97	95	2	3	0	3	5
	12	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	96 ■	95	94	97	100	3	3	3	3	0
	13	学校では、PTA活動が適切に行われている。	84	82	80	84	86	3	8	1	5	0
	14	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	97 ■	97	93	100	100	2	1	4	0	0
組織マネジメント	15	校長は自らの教育理連や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを發揮している。	90 ■	90	94	89	82	8	7	6	10	14
	16	准校長は自らの教育理連や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	89 ▲	82	90	85	100	5	6	3	8	0
	17	会議等で、教職員が意見を発言しやすい環境がある。	71	68	77	68	59	26	25	19	29	36
	18	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	83 ▲	72	87	82	73	13	19	10	13	27
	19	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	86 ▲	79	88	82	95	12	17	12	13	5
	20	体罰防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるよう、研修等に取り組んでいる。	94 ■	94	100	90	95	4	3	0	8	0
	21	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	90 ■▲	83	88	92	86	9	14	12	8	9
	22	休養室の整備、休憩時間の確保、時間外勤務といった労働衛生環境は改善している。	77 ▲	68	75	76	77	18	25	17	19	23
	23	個人情報の管理における校内システムは確立している。	92 ■	89	91	94	91	5	7	7	3	9
	24	学校予算は適正に編成・執行されている。	83	82	87	81	77	7	3	4	8	14
地域連携	25	地域支援においてセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが働きやすい体制（非常勤講師の配置など）が整っている。	78	75	71	82	77	14	16	20	10	14
	26	地域の幼稚園・保育園・小中学校・高校との連携・支援を行っている。	88 ▲	83	87	87	86	4	5	3	5	5
	27	夏季研修、授業見学、公開授業、来校相談など、地域に開かれた研修、相談事業を行っている。	97 ■	97	100	95	95	1	1	0	2	0
教務	28	公文書や指導要録等の管理は十分に配置されている。	90 ■	87	91	89	91	3	5	3	3	5
情報	29	ICT教育に必要な機器は、工夫次第で十分活用できる範囲にある。	78	78	88	68	95	19	20	10	27	5

## (2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R7 肯定 (全)	R7 肯定 (全)	R7肯定			R7 否定 (全)	R6 否定 (全)	R7否定		
					小	中	高			小	中	高
情報	30	教育活動において、必要に応じてICT機器（タブレット端末など）を活用することがある。	96 ■	95	99	95	95	3	1	0	5	0
生活安全	31	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	93 ■▲	88	93	94	91	4	8	1	6	5
	32	児童・生徒会活動は活発である。	88 ▲	81	86	89	91	10	14	10	10	9
	33	校内外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	89	90	88	89	91	7	6	9	6	9
	34	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	91 ■	91	91	89	95	5	6	6	6	0
	35	保健室は健康に関する相談がしやすい。	90 ■	91	99	85	91	8	2	1	13	0
	36	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	98 ■	97	99	97	100	2	1	0	3	0
	37	給食は子どもの実態に応じて安全に作られている。	98 ■	97	96	98	100	2	1	3	2	0
支援教育	38	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談・ホット相談会及び勉強会など）を受け易い体制が整っている。	92 ■	90	97	92	77	4	3	3	3	9
	39	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができるよう計画的に実施されている。	95 ■▲	90	97	95	86	4	9	3	3	14
	40	支援教育に関する専門性向上や教材づくりに役立つ関連書籍、問題集、支援グッズ、自立活動の教材がそろっている。	94 ■▲	88	99	92	91	5	8	1	6	9
支援/進路	41	キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している。	85 ▲	79	86	87	73	11	15	7	11	23
進路	42	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	91 ■▲	83	97	89	82	8	9	1	11	14
企画	43	施設・設備は安全面に十分配慮し、点検を行っている。	84 ▲	70	83	85	68	14	25	16	11	27
	44	運動会や作品展など、各教職員の役割分担と連携により円滑に行われている。	90 ■▲	83	91	90	77	7	12	7	5	23
	45	PTA活動を理解し、協力している。	74	77	78	69	82	10	11	6	15	5

### 【考察】

●今年度45項目のすべての項目が達成基準に達した。（70%以上）

●15番～24番「組織マネジメント」10項目中、肯定的意見が5%以上上昇した項目が5項目あった。しかし、全体的に数値が低い項目も見られるため、今後も、情報共有や教職員が発信しやすい環境を整え、より良い学校運営に努めていきたい。また、今年度より男女休養室を設置した。今後は休養室の環境を改善し、教職員が活用しやすいように努める。

●25番～27番「地域連携」の項目では、26番『地域の幼稚園・保育園・小中学校・高校との連携・支援を行っている。』が88%と肯定的意見が上昇した。地域支援や来校相談を積極的に行っている成果であると考える。今後は、リーディングスタッフやコーディネーターがより働きやすい体制を整えることが、教職員全体で地域連携を進め、地域のセンター校としての役割を担っていくために必要であると考える。

●32番『児童・生徒会活動は活発である。』の項目が5%以上肯定的意見が上昇した。児童生徒会の交流活動や、あいさつ運動、各学部での活動を積極的に行った成果であると考える。今後も活動を広げ、活気あふれる学校になるように取り組んでもらいたい。

●38番～40番「支援教育」の項目は、全て肯定的意見が90%以上となった。今年度は、計画的な校内研修の実施や自立活動等の教材の貸出しなど、より専門性を高める取り組みが行われた。引き続き、教職員一人ひとりの専門性を高めるよう努めたい。

### (3) 記述回答 まとめ

多くのご意見をいただき誠にありがとうございました。

#### 1 施設設備について

##### ○校舎の老朽化と教室不足について

→引き続きPTAから府に要望を出し、順次修繕し環境を整えていきたいと思います。

##### ○行事日の車での来校について

→学校内へ車の乗り入れについては、事故防止の観点から必要最小限に留めています。行事等においては、ご不便な状況もあるかと思いますが、ご理解下さい。また、グラウンドに車の乗り入れを行うとグラウンド状況が悪化し子どもたちの活動に影響が出てしまいます。引き続き、自転車や公共交通機関の利用、近隣のコインパーキングの利用へのご協力をお願いいたします。

#### 2 教育活動について

##### ○懇談の回数について

→必要に応じて、実習前や進学前に適宜懇談や説明会を行っています。それ以外にご相談したいことがあれば、連絡帳を通じてお伝えください。連絡帳に記載しきれない場合は学校へお電話ください。学校も、連絡帳でお伝えしきれない場合は学校から電話連絡をさせていただきます。

##### ○通学バスの乗降時の安全確保について

→通学バスの降車については、基本的に保護者が迎えに来てから子どもを降ろすことになっています。今後も安心安全に通学バスの利用ができるように、バス会社と連携しながら取り組んでまいります。

アンケートの結果を全職員で確認し、各関係部署で検討を行い、課題解決に向けて取り組んでまいります。